



粉に水を回して こねて空気を出す

薄く伸ばして へそ出し完了!

切ってゆでれば、出来上がり。いただきます!

足尾公民館では、11月12日(土)に、そば打ち教室を開催しました。8月・11月・2月の3回開催の2回目で、落合手打ちそばの会の有段者(全国素人そば打ち段位認定制度)の方々が、講師を務めました。

今回のそばは、新そば粉400gとつなぎ(中力粉)200gを使いました。

ボウルの中で粉を混ぜ、水をまんべんなく粉に行きわたらせてこね始めると、新そばの香りが会場に広がりました。

参加者は、生地から空気を抜く菊練りやへそ出し、生地を丸く伸ばした後、四角に伸ばす四つ出しなどの各種の技のこつを学びました。

そば打ち初体験で講座に参加

した神山誠さん(足尾)にお聞きしました。

Q 教室に参加した理由を教えてください。

A 何でも自分でやってみたいと思う方なので、そば打ちに興味があり応募しました。

Q 実際にそばを打ってみた感想を聞かせてください。

A 生地を伸ばすときの麵棒への力加減が、特に難しかったですね。でも先生方が本当に丁寧に指導してくださったので楽しかったです。続けていけばもっと楽しくなると思います。

最後に自分たちで打ったそばを鶏ねぎ汁で食べた皆さん。その味は格別においしく、何杯もおかわりを重ねていました。

◎そば打ち教室(足尾公民館)

参加者の声でつない

公民館の教室・講座紹介

市民文芸

川柳 選者 山本 都留米

剣山のひとつ孤高の菊の花 青木照雄

食卓にかぼちゃ並べる冬至の日 植田義雄

放射能汚染気になる落葉踏む 白土武夫

排ガスで紅葉の色も黒味滞り 高野邦子

初詣で無事を祈って人の波 岩崎節子

柏手の音高くして初詣で 櫻沢あき子

日本丸船頭多く舵切れず 倉沢美江子

俳句 選者 伊藤 清

手柄杓に掬う山路の秋の水 徳本英子

小田代の湖水彩る冬木立 渡辺ミチ子

そば祭片道二里のウォーキング 白土武夫

着ぶくれて自力他力の今日終る 名古屋佳月

一筋の川の光や紅葉溪 鈴木キヌ子

熟れ柿に追い払いても鳥来る 植田義雄

役目すみ刈田の隅にコンバイン 櫻沢総一

作品を募集しています!

川柳・俳句・短歌を募集しています。氏名(ふりがな)、住所、電話番号を明記して、郵送またはFAX、メールでご応募ください。

なお、作品中の漢字には、ふりがなを明記してください。

応募先及びくわしくは、秘書広報課 広報広聴係

☎(21)5135 FAX(21)5109

短歌 選者 阿久津伸一

山の端に吸いこまれゆく落日を見送り 胸のつかえ飲みこむ 根立郷美

かかる世に出遇いし人の濃く淡く川の流れとなりて過ぎゆく 名古屋佳子

山峡の木賊の宿に時雨きて骨木の峰に虹のかかれり 池田三夫

輪王寺のまぶゆき紅葉の逍遙園苔生す廻路ゆつくり歩む 大森トミ子

白髪のにほひに短かく軽き身を娘は勞うて肩に手を置く 北崎 君

晩秋に鳴く虫の音は細々と老いの我が身に重ねて聞けり 富永和代

流鏑馬に古風の姿凛々しかり的を射貫くに歓声あがる 植田義雄

小杉放菴記念日光美術館

〒321-1431 日光市山内 2388-3 TEL: 50-1200
ホームページ http://www.khmoan.jp/

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

市民割引券

(1枚につき、5名様まで有効)

小杉放菴記念日光美術館

切り取ってご利用ください

年始特別開館<た・の・し・い・お・正・月>

美術館は、正月3が日(1月1日～3日)を特別開館します。

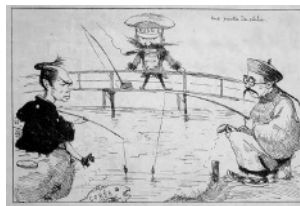
エントランスホールでは、双六や福笑いはじめ、かるた、百人一首、独楽まわしなどの日本の伝統的な正月遊びの無料体験や、お楽しみ福引などを行い、新しい年の始まりを祝います。

また、展覧会では、歴史の教科書で一度は見たことのある風刺画「漁夫の利」を描いた、フランス人画家ジョルジュ・ビゴー(1860～1927年)が、実は日光を訪れていたことや、その目に映った日本の姿を、約150点の作品によって紹介しています。お正月の楽しいひとときを、ぜひ、美術館でお過ごしください。

◆展覧会「来日130周年 宇都宮美術館コレクションによるジョルジュ・ビゴーと日光」
会 期：12月10日(土)～1月29日(日)
休 館 日：毎週月曜日(祝日の場合は開館し、翌日を休館)
年末休館…12月26日(月)～31日(土)
年始休館…1月4日(水)～6日(金)
開館時間：午前9時30分～午後5時(入館は午後4時30分まで)
入 館 料：一般…700(300)円、大学生…500(200)円、高校生以下…無料
※()内は市民割引券を利用した際の料金です。



ジョルジュ・ビゴー「日光 東照宮の祭」宇都宮美術館所蔵



ジョルジュ・ビゴー「漁夫の利」宇都宮美術館所蔵

KOSUGI HOAN
MUSEUM OF ART,
NIKKO

小杉放菴記念日光美術館

歴史民俗資料館通信

日光市中央町29-1(市図書館隣) ☎22-6217
開館時間 午前9時～午後6時(入館無料)
休館日 毎週月曜日、祝日



◆企画展紹介⑤

日光市の貴重な絶滅危惧植物

今月も日光市の代表的な絶滅危惧植物を紹介します。

■フリヤマハハコ(キウ科)

山地のやや乾燥した岩壁に生える多年生のキウで、栗山地域で最初に発見されました。高さは20～35cm、全体が白緑色で粘着性があり、黒砂糖の匂いがして、7～9月に白い花を多数咲かせます。地元のフリヤマハハコを守る会が保護活動を行っています。



□環境省：絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している)

□栃木県：絶滅危惧Ⅰ類(絶滅の危機に瀕している)

■コウシンソウ(タヌキモ科)

深山の湿った岩壁に生える多年生の食虫植物で、足尾地域の庚申山で最初に発見されま



■ワマガイソウ(ラン科)

山地の樹林下の湿った場所に群生する多年生のランで、最近では藤原地域以外では見られなくなっています。大きな2枚の扇形の葉を持ち、4～5月に淡黄緑色の花被片と紅紫色の大きな唇弁をつけます。園芸採取の対象となり各地で絶滅しています。



□環境省：絶滅危惧Ⅱ類(絶滅の危険が増大している)

□栃木県：絶滅危惧Ⅰ類(絶滅の危機に瀕している)